



# 学校だより

令和8年1月30日

東京都立小平特別支援学校

校長 鈴木 愛

肢体不自由教育部門・病弱教育部門(病院訪問部) 〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671

病弱教育部門(センター病院内分教室部) 武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内  
TEL 042-344-4537



二十四節気の「大寒(たいかん)」を迎え、一年で最も寒さの厳しい時期となりました。吐く息の白さに、冬の深まりを感じるこの頃です。学校の花だんでは、冬の花「パンジー」が寒さに耐えながらけなげに咲いています。パンジーの花言葉は「もの思い」や「私を思って」だそうです。これはうつむき加減に咲く花の形が、頭を垂れて深く「考え込んでいる人」の姿に似ていることから、フランス語で「思想」を意味する「パンセ」にちなんで名付けられたと言い伝えられています。冬の厳しい寒さを乗り越えて、春も力強く花を咲かせるパンジーのように、明るく、元気に勉強していきましょう。

## ●防災教育推進委員会 ～「想像力」を生かした、より実践的な防災教育を目指して～

1月19日(月) 本校では令和7年度第2回防災教育推進委員会を開催し、当日の避難訓練(火災想定)の見学とともに、今年度の防災教育の取組みについて協議を行いました。今回の避難訓練は教職員に発災時刻と発災場所を事前に知らせない「非告知型」で実施し、実際の災害発生時により近い状況をイメージする訓練により、児童・生徒及び教職員の避難行動について確認する機会としました。訓練の評価としては、放送内容が明確で分かりやすいこと、児童・生徒が落ち着いて避難できていたこと、日頃の繰り返しの指導の成果が随所に見られたことなどを良い点として委員の皆様からいただきました。一方で、避難経路上の物の整理や、防火設備の取り扱い、教職員のヘルメット装備の徹底など、今後更に改善を必要とする視点についても示されました。また、学校が福祉避難所として機能する際の協定内容についても学校の所在地である小平市と連携し改めて確認事項を整える作業を進めています。



ある委員の方から「防災力は想像力」という言葉が紹介されました。いつ、どこで、どのような状況で災害が起きても安全に避難できるように、日頃から想像し、備えることが大切です。児童・生徒の皆さんの安全を第一に考え、教職員の訓練の充実や環境整備を今後も進めてまいります。御家庭におかれましても日頃から防災についてぜひ話題にしてください。御家庭と学校の連携による安心・安全な環境づくりへの御協力をよろしくお願ひいたします。

## ●芸術鑑賞教室 ～オーケストラがやってきた！～

1月21日(水) 本校の芸術鑑賞教室では、オーケストラの生演奏を聴く機会がありました。今回は、東京文化会館の音楽プログラムの一環として、東京交響楽団が来校してくださいました。日本を代表するオーケストラの演奏を間近に聴くことができ、貴重な体験となりました。演奏が始まると、アーニーいっぱいに様々な楽器の音色が広がり児童・生徒の皆さんには自然と音楽に耳を傾けていました。大きな音や静かな音の変化を感じながら、演奏を身体全体で味わっている姿もありました。プログラムの中でも、チャイコフスキー作曲の「花のワルツ」は、明るく親しみやすいメロディーが印象的な曲でもあり、会場が優雅な雰囲気に包まれました。冒頭のハープの演奏では、やわらかく澄んだ音色が静かに響き、感動的でした。このような生演奏に触れる体験は、音楽の楽しさを感じると共に、心を豊かにする大切な学びの機会となったこと思います。

また、この日は訪問学級の児童・生徒の皆さん9名もスクーリングにて参加しました。オーケストラの生演奏ならではの、迫力ある音色に子供たちは興味津々！曲が流れる度に、生き生きとした表情がたくさん見られました。普段はなかなか交流する機会の少ない訪問学級の友達同士で顔をあわせることができ、貴重なひとときとなりました。

副校長 渡部 早苗

